

発行 | 字 国場自治会
発行責任者 | 渡嘉敷 正彦

那覇市国場95番地
TEL 098・855・3165
FAX 098・855・1811

写真 | 軽便鉄道・国場駅舎と職員

もくじ

- 「共同作業」ご協力をお願い
- 土帝君(トゥティクン)祭
- コスモスの花
- 野菜生産部会「視察研修」
- こいのぼりまつり新年交流会
- 第39回 農協まつり
- 仲井真小学校 音楽部卒業コンサート

4月度行事

- ▼ 7日(日) 共同作業 ※午前9時～
- ▼ 8日(月) 3月あしび (旧暦3月4日)
- ▼ 14日(日) 清明祭 (シーミー)

「共同作業」ご協力をお願い

毎年恒例、清明祭前の清掃を行います。

つきましては、会員皆様のご参加をお待ちしております。

作業日時、各班の担当地区は右記をご確認ください。よろしくお願いたします。

【日時】平成31年4月7日(日)
午前9時開始 ※現地集合です

- 1班・2班「登野城御嶽」、
- 3班「上之毛、グラウンドゴルフ場」
- 4班「花園公園」、5班「多目的広場」
- 6班・7班「溝原毛」
- 自治会役員「前又御嶽」

「JAおきなわ真和志支店」主催 第39回 農協まつり

2月23日(土)、JAおきなわ真和志支店において開催された。

同まつりでは、JA組合員や職員との交流、各部会の活動状況、生産物の販売など農協の果たす役割が紹介された。また、各コーナーでは組合員による野菜や花卉の展示即売、女性部A・Bの作品展示および手作り食品の販売が行われ、来場者を喜ばせた。3階ホールでは数々の余興が演じられ、真和志地区の保育園児が日頃の学習発表を演じ、来場者に感動を与えた。国場自治会からはフラダンスサークルの方々が出



演し、多くの喝さいを浴びた。地域密着と更なる奉仕へ、JAお

きなわ真和志支店のますますの発展を祈念致したいと思います。

仲井真小学校 音楽部 第6回 卒業コンサート

3月3日(日)、仲井真小学校体育館において盛大に開催された。

部員は1年生から6年生まで66名おり、字国場出身の嘉数駿(5年生)、嘉数沙愛(4年生)、嘉数愛湖(2年生)、長浜悠真(4年生)も所属している。はじめに顧問の先生により今期の実績(第36回九州小学校バンドフェスティバル銀賞、第37回沖縄小

学校バンドフェスティバル金賞)や活動状況などの報告があった。そのあとの校長挨拶では、卒業生への祝福とともに関係者へのお礼、特に各賞受賞に導いて頂いた東恩納なおき先生へのお礼の言葉が述べられた。そして部員の保護者や関係者が注目する中で行われたコンサート発表では、3部

構成・計15曲が演奏された。今後ますますの活動と発展が期待される同校音楽部である。受賞、おめでとうございます。



野菜生産部会 視察研修

2月26日(火)、生産部会の嘉数正晃会長をはじめ会員27名が参加し、恒例の視察研修が開催された。JA国場支店を発着点に、中村家～中城公園～喜瀬ビーチパレス(昼食)～仲地農園(金武町屋嘉)～恩納村道の駅を訪問した。バスの車内や各訪問地に

においても会員一同、和やかな雰囲気笑顔の絶えない一日であったと部会長より感想を伺った。国場は野菜の生産地で、那覇の市場へ野菜を供給して栄えた地域である。現在は市街化が進み、農地が近隣市町村へと移り、

農家は通勤農業への転向を余儀なくされている。会員各位においては国場の農業の発展に大きく寄与した方々が多数おられる。農は国の基、農は国場の基。一致団結、ゆいまーる精神は国場の誇りである。夢ある明日の農業へ賛辞をお届けしたい。



旧暦2月2日 土帝君(トウティクン)祭

3月8日(金)、寺小毛において、ちゅくる、むじゅくい満作、国場村の繁盛、各家庭の繁栄を願う土帝君祭(拝み)が、おごそかに執り行われた。

自治会員も多数参加し、拝みの念は渡嘉敷光助さんに唱えて頂いた。女性部の皆様方に早朝から準備して頂いたお供え物などの料理と、



野菜生産部会より提供して頂いた農作物を拝所へ捧げた。農業の神様へ感謝の意を表す拝みとともに国場村の更なる繁盛に願いを込めて、渡嘉敷光秋さん、嘉数幸雄さんによる三線演奏で祭りを盛り上げてもらった。ウサン

デーも全員で頂き、海の幸、農の幸に心より感謝する土帝君祭であった。準備の為に苦勞頂いた女性部はじめ、多くの農産物を提供して下さいました野菜生産部会員、そして参加頂きました会員各位に感謝申し上げます。ありがとうございました。



「仲井真小学校区まちづくり協議会」主催 こいのぼりまつり 新年交流会

2月16日(土)、新年(初輿し)交流会が開催された。地域自治会はじめ民児委員など関係各団体が参加し、司会は渡慶次正一氏が務めた。仲地政英会長による主催者挨拶では「こいのぼり祭りは多くの皆様方の支えがあって今年23回目を迎えることが出来る。これまで協力して頂いた関係各位に感謝の気持ちで一杯である。

今後更にご協力頂き活動を展開して行きたい」と述べられた。国場川に清流を取り戻す会の嘉数芳則会長による乾杯の音頭では、これまでの数々の活動を紹介し、国場川に清流を取り戻す会の初代会長を務めた故・玉城幸治さん、事務局を担当した故・田端温代さんの功績について感謝の意

を表された。そして、二人の遺志を引き継ぎ今後なお一層の取り組みの強化、活動を展開して行きたいと高らかに音頭が執られた。また、こいのぼり実行委員会の会長交替もあり、山入端登志夫現会長が退任し、砂川豊蔵新会長が就任した。会員各団体のスピーチもあり、それぞれの活動状況等が紹介され、和やかな初輿しであった。

花言葉は「乙女の真心」 コスモスの花

コスモスの花が嘉数武さん(一班)の畑に咲き誇っている。

特別養護老人施設「グリーンハウス国場」の前に広がるコスモス。色とりどりの可憐な花の風情は、道行く人々や老人施設の方々に感動と喜び、心の安らぎを与えている。去年のヒマワリから花替わりした国場の風物。来年はどんな花が展開されるか楽しみである。

